

ユニットリーダー研修を受講して

仁川・武庫川リーダー 都崎 律子

十月三十日から三日間、岡山県で講義を受け、十一月五日から五日間、鳥取県で実地研修を受講しました。岡山県の講義では、ユニットケアとは何か、その具体的な手法について、指導方法を学びました。

講義で印象に残ったことは、多くの施設の映像を見て、良い例と悪い例を、受講生が判断する講義でした。家具・洗面所・リビングの配置・掲示物等のあらゆる事に意味があります。今まで何気なく見過ごしていた事を、自分のユニットだったらと考へること、より居心地のよい空間づくりが出来ることがわかりました。また、ご利用者一人ひとりの意志及び人格を尊重し、入居前の生活が継続できるように環境づくりをしていきたいと思いました。

二三日目は、ユニットケアについてのグループワークでした。ユニットケアを実施している参加者同士で悩みや、取り組みについて話し合い、共感できる事や疑問に思う事など、いろいろな意見を聞くことができ、大変有意義な研修となりました。鳥取県の実地研修は、米子駅から車で二十分程度南に行った西伯郡の施設でした。玄関が格子で、料亭のような造りの建物で少し戸惑いました。ここで、五日間のご利用者体験をしました。

初日、担当のユニットに案内され不安でいっぱいでした。しかし、職員は二人で忙しいはずなのに、バタバタとする事無く、私は落ち着いて過ごす事が出来ました。ユニット内に、観葉植物・お花・



調度品などが充実していることが、落ち着いて過ごすことのできる一つの要因だと感じました。

ご利用者が自宅から施設に入居する時、環境が大きく変化することで、大きな不安やストレスを感じると思います。今回の体験で、その不安を和らげるヒントを得たように感じました。担当するユニットでも、ご利用者の快適な居場所が提供できるように、検討していきたいと思っています。

また、私が「質問しようか」「声をかけようか」と思っていると、その気持ちを察して職員の方からよく声をかけて頂きました。私も、入居者様の気持ちや心情を察し、先に職員が声かけ出来るようにしたいと思えます。また、ご利用者が、いつでもな時でも声をかけやすい雰囲気づくりをしていきたいと思っています。

この研修で、介護について、リーダーの役割など多くのことを学ぶことが出来ました。これらの体験を活かし、ご利用者の尊厳や、プライバシーへの配慮を大切に「毎日が楽



しい、生きがいがある」と思っていただけるよう、また職員が「楽しい、やりがいがある」と思えるように、自分自身も勉強を積み、職員全員で考え、取り組んでいきたいと思えます。

ユニット報告

逆瀬川・星の荘ユニット

十一月には、三名のご利用者のお誕生日会を行いました。

お祝いのケーキとプレゼントを準備し、ご利用者と職員全員で、バイスデーソングを唄いました。

お祝いされたご利用者は「ありがとう、みんなに祝ってもらって嬉しいです。」と笑顔で

答えられています

た。また、プレゼントを開けるときも、照れくさそうに、しかし嬉しそうに開けておられ、とても

喜んでいただきました。(北辻)



青葉台・五月台ユニット

クリスマスが近づき、当ユニットでは、ご利用者にツリーの装飾をお手伝いして頂きました。完成したツリーを見て、「きれいな〜」「懐かしいわ〜」等のお声が聞かれました。綺麗に装飾され彩られたツリーは、クリスマスらしい明るく楽しい雰囲気グッと深めてくれます。(池下)



委員会報告

サービス向上委員会

十一月十四日開催の定例会議で、「サービス満足度調査」において指摘があった部分について話し合いました。まずは優先順位を定めるべく協議しており、具体的な解決策を検討し、実施していきます。

また、お忙しい中、調査にご協力していただき、誠に有り難うございました。皆様からのご回答を参考にさせていただきます、今後もサービスの

質の向上に努めていきます。

「サービス満足度調査」の結果に關しましては来月の本紙で報告します。(市枝)

研修委員会

十一月二十七日・十二月四日と正職員が二班に分かれて福井県にある「あさくら苑」に施設見学に行ってきました。

特別養護老人ホーム・デイサービス・グループホーム・有料老人ホーム(特定施設入居者生活介護)を見学し、各施設には様々な特色やコンセプトがあることを実感しました。

「あさくら苑」では、特に共用スペースと、居室などプライベートスペースのしつらえを工夫しており、居心地よいと思える空間作りに力をいれていると感じました。(鍛冶)



給食委員会

温かい食事が好まれる季節になり、十二月から毎年恒例のお鍋を企画し、心身ともに温まって頂きたいと思えます。

第一回は「寄せ鍋」です。毎月二回のペースで予定していますので、飽きがこないよう、変わり種鍋なども提案していきたいと思います。

年末年始にかけ、冬

至・餅つき・大晦日・正月・小正月など行事が目白押しで、季節を感じてもらえるような工夫をしています。なかでも、クリスマスケーキのデコレーションは、ユニット対抗で皆様に楽しんで頂けるような企画も準備中です。(藤田訓)



感染症委員会

十二月に入り、全国的にノロウイルス・インフルエンザの流行が懸念されています。感染症委員会では感

染症の対応の再確認、新たなノロウイルス発生時の対処法の研修を行い、周知しています。また、各部署の共用部には新たにプラズマクラスターを導入し、環境整備に努めています。

地域交流委員会

十一月の定例会議では、十一月十一日に地域の方を対象とし、開催しました「介護技術講習会」の振り返りを行いました。

「講義の時間より、体験の時間を多くとった方がよかったのではないか」との意見があり、次回三月の開催時には、反省を踏まえたプログラムを検討しています。

また、当初「認知症講習会」を一月に予定していましたが、諸事情により二月へ延期となりました。日程など詳細が決まり次第ご案内いたします。

これとは別に平成二十五年一月十五日に、ボランティア養成講座「ち

(藤田訓)



どり介護塾(外出支援講座)」を開催します。応募の締切が十二月三十一日ですので、ご興味のある方は、お気軽にお問合せください。

担当(森本・岡村)

☎〇七九七(七三)〇八八〇

◆クリスマスイルミネーション

設置しました。点灯時間は十七時から二十一時です。(岡村)



事故防止委員会

身体拘束廃止委員会では、身体抑制されることにより、ご利用者などのような気持ちになるのか?どのような影響が出るのかに焦点をあてて協議しました。

事故防止委員会では事故・ヒヤリハットをユニット毎に報告し、対策を協議しました。

報告書を元に意見交換を行う中で、スタッフの意識の問題で解決できる場面や、未然に防ぐことのできる対応策があげられました。(米澤)

年末もちつき大会

平成二十四年十二月二十八日（十一時～十五時半）宝塚ちどり敷地構内の駐車スペースで開催します。



年に一度つきたてのお餅とぜんざいが食べられるとのこと、皆さん心待ちにされています。ご利用者だけでなく、ご家族・地域の方々にもご参加頂き、皆で年の瀬の楽しいひとときを過ごせればと思います。

（仲田）

新年ふるまい雑煮

平成二十五年一月一日～三日（十時～十四時）宝塚ちどり一階デイサービス横ラウンジ「桜花」にて毎年恒例のふるまい雑煮を予定しております。どなた様もお気軽にお立ち寄りください。



※この取り組みは「歳末たすけあい愛の持ち寄り運動」の配分金の一部より実施いたします。（仲田）

介護福祉士の国家試験迫る

平成二十五年一月二十七日に、EPAインドネシア人介護福祉士候補者の二名（ルキナル・シナガさん、ジュリヤティさん）が受験します。

平成二十二年一月に宝塚ちどりにやってきて、はや三年が経とうとしています。仕事と勉強と両立するために、二名の候補者とも日々努力を重ねてきました。試験まで残りわずかとなり

ましたが、より一層、試験勉強にも力を入れて、合格に向け支援していきます。（有田）



◆試験まであと一か月あまり、今まで勉強してきたことで、合格できるのか不安で緊張していますが、頑張ります。（ジュリヤティ）

◆体調管理に気をつけ、試験までの時間を無駄にせず、合格に向けて頑張ります。（ルキナル・シナガ）

感染症研修

十二月十二日、主にノロウイルス発生を想定した対処法について、研修を行いました。

今冬、ノロウイルスは大流行の兆しを見せており、宝塚市内の施設や病院でも、発症者が確認されています。

ノロウイルスはアルコールで殺菌できず、飛沫感染すると言われています。研修では、正しい手洗いの方法をマスターするため、特殊なライトで洗い残しを確認したり、おう吐物や排泄物の処理方法などを再確認しました。（前田）



編集後記

今年も残りわずかになりました。来年も良い「金（きん）」が見られますように。（安藤）